

講義名:	学科研修	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	学校生活において必要な人間性やルールをプレゼン形式で学ぶ。また、学力テストやPC設定など今後の生活において必要な事項を実施する。		
到達目標:	公務員・社会人にとって必要なメンタリティや人間性を学び、今後の学生生活の基礎をつくる。学力テストを通して、基礎的な学力の確認、および勉強の仕方を身に付ける。職業理解を通じて自分自身の視野を広げる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	セルフマネジメント I B-①	講義時間数: 72時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未・種村 誠	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的推理 I B-①	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員
担当:	後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	対比①		
2回目	対比②		
3回目	対比③		
4回目	対比④		
5回目	割合①		
6回目	割合②		
7回目	割合③		
8回目	割合④		
9回目	損益算①		
10回目	損益算②		
11回目	濃度算①		
12回目	濃度算②		
13回目	濃度算③		
14回目	試験対策		
15回目	単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的推理 I B-②	講義時間数:	38時間	受講コース名:	公務員
担当:	後田 祥吾	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。				
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。				
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	濃度算④	17回目	確率②		
2回目	仕事算①	18回目	確率③		
3回目	仕事算②	19回目	単位認定試験		
4回目	仕事算③	20回目			
5回目	仕事算④	21回目			
6回目	速さ①	22回目			
7回目	速さ②	23回目			
8回目	速さ③	24回目			
9回目	速さ④	25回目			
10回目	速さ⑤	26回目			
11回目	速さ⑥	27回目			
12回目	速さ⑦	28回目			
13回目	場合の数①	29回目			
14回目	場合の数②	30回目			
15回目	場合の数③	31回目			
16回目	確率①	32回目			
授業教材等:	オリジナルプリント				

講義名:	判断推理 I B①	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション		
2回目	対応関係(講義・演習)		
3回目	対応関係(講義・演習) + 確認テスト		
4回目	対応関係(講義・演習)		
5回目	対応関係(講義・演習) + 確認テスト		
6回目	試合と勝敗(講義・演習)		
7回目	試合と勝敗(講義・演習) + 確認テスト		
8回目	試合と勝敗(講義・演習)		
9回目	試合と勝敗(講義・演習) + 確認テスト		
10回目	順次順序(講義・演習)		
11回目	順次順序(講義・演習) + 確認テスト		
12回目	順次順序(講義・演習)		
13回目	順次順序(講義・演習)		
14回目	順次順序(講義・演習) + 確認テスト		
15回目	順次順序(講義・演習)		
16回目	順次順序(講義・演習) + 確認テスト		
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	判断推理 I B②	講義時間数: 46時間	受講コース名: 公務員
担当:	服部 成志	単位数: 3単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	順次順序(講義・演習)	17回目	立体図形(講義・演習)
2回目	順次順序(講義・演習)+確認テスト	18回目	立体図形(講義・演習)
3回目	位置関係	19回目	立体図形(講義・演習)+確認テスト
4回目	位置関係+確認テスト	20回目	サイコロ(講義・演習)
5回目	位置関係	21回目	サイコロ(講義・演習)+確認テスト
6回目	位置関係+確認テスト	22回目	単位認定試験対策 復習
7回目	単位認定試験対策 復習	23回目	単位認定試験
8回目	方位(講義・演習)	24回目	
9回目	方位(講義・演習)+確認テスト	25回目	
10回目	うそとホント(講義・演習)	26回目	
11回目	うそとホント(講義・演習)+確認テスト	27回目	
12回目	命題(講義・演習)	28回目	
13回目	命題(講義・演習)	29回目	
14回目	命題(講義・演習)+確認テスト	30回目	
15回目	平面図形(講義・演習)	31回目	
16回目	平面図形(講義・演習)+確認テスト	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	政治経済 I B-①	講義時間数:	42時間	受講コース名:	公務員
担当:	小童 望未	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期		
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要				
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。				
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。				
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	オリエンテーション(授業のすすめ方・勉強方法について)	17回目	国会③		
2回目	大日本帝国憲法と日本国憲法①	18回目	国会④ 確認テスト		
3回目	大日本帝国憲法と日本国憲法②	19回目	内閣①		
4回目	大日本帝国憲法と日本国憲法 確認テスト	20回目	内閣②		
5回目	基本的人権①	21回目	単位認定試験		
6回目	基本的人権②	22回目			
7回目	基本的人権③	23回目			
8回目	基本的人権④ 確認テスト	24回目			
9回目	需給曲線①	25回目			
10回目	需給曲線②	26回目			
11回目	需給曲線③ 確認テスト	27回目			
12回目	市場経済①	28回目			
13回目	市場経済②	29回目			
14回目	市場経済③ 確認テスト	30回目			
15回目	国会①	31回目			
16回目	国会②	32回目			
授業教材等:	オリジナルテキスト				

講義名:	政治経済 I B-②	講義時間数:	62時間	受講コース名:	公務員
担当:	小童 望未	単位数:	4単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期		
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要				
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。				
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。				
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	内閣③ 確認テスト	17回目	地方自治②		
2回目	裁判所①	18回目	地方自治③ 確認テスト		
3回目	裁判所②	19回目	政治の諸問題①		
4回目	裁判所③	20回目	政治の諸問題②		
5回目	裁判所④ 確認テスト	21回目	政治の諸問題③		
6回目	景気変動①	22回目	政治の諸問題④ 確認テスト		
7回目	景気変動② 確認テスト	23回目	日本経済の発展①		
8回目	金融政策①	24回目	日本経済の発展②		
9回目	金融政策②	25回目	日本経済の発展③		
10回目	金融政策③	26回目	日本経済の発展④ 確認テスト		
11回目	金融政策④ 確認テスト	27回目	国際政治①		
12回目	財政政策①	28回目	国際政治②		
13回目	財政政策②	29回目	国際政治③		
14回目	財政政策③	30回目	国際政治④ 確認テスト		
15回目	財政政策④ 確認テスト	31回目	単位認定試験		
16回目	地方自治①	32回目			
授業教材等:	オリジナルテキスト				

講義名:	SPI・新教養	講義時間数:	38時間	受講コース名:	公務員
担当:	後田 祥吾	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:					
講義概要:	公務員試験にも採用されているSPIの対策として、言語・非言語に取り組む。				
到達目標:	民間企業においても適性試験として実施される。高校卒業程度であれば問題なく対応できるものではあるが、慣れておく必要があるため、過去問題等を参考に対策していく。複数回の確認テストの成績を基に、単位認定を行う。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	オリエンテーション	17回目	演習プリント⑭		
2回目	演習プリント①	18回目	演習プリント⑮		
3回目	演習プリント②	19回目	最終確認テスト		
4回目	演習プリント③	20回目			
5回目	演習プリント④	21回目			
6回目	演習プリント⑤	22回目			
7回目	確認テスト	23回目			
8回目	演習プリント⑥	24回目			
9回目	演習プリント⑦	25回目			
10回目	演習プリント⑧	26回目			
11回目	演習プリント⑨	27回目			
12回目	演習プリント⑩	28回目			
13回目	確認テスト	29回目			
14回目	演習プリント⑪	30回目			
15回目	演習プリント⑫	31回目			
16回目	演習プリント⑬	32回目			
授業教材等:	オリジナルプリント				

講義名:	ヒューマンスキルプログラムⅠ	講義時間数: 64時間	受講コース名: 全コース
担当:	小童 望未・坂上 弘次・安廣 啓示 種村 誠・西本 麻衣	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	4/3(水)~4/8(月)の4日間で新入生研修Ⅰを実施 4/15(月)~4/19(金)の5日間の午後で新入生研修Ⅱを実施 4/22(月)・4/23(火)の2日間で閑谷学校での宿泊研修を実施		
講義概要:	新入生研修Ⅰでは5つの約束・共通ルール・掃除・挨拶といった社会人としての基本的マナーや人間性の基礎を学ぶ。 新入生研修Ⅱではチームとしての考え方や行動の仕方を学ぶ。 宿泊研修では新入生研修の集大成として、学んだことを実践する。		
到達目標:	専門学生だけではなく、社会人としての基礎・基本を学び、社会人にふさわしい人間性を身に付ける。 チームや集団として行動していく中で、個人の役目や役割を意識した行動や言動が採れるようになる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…5つの約束、ルール、気を付け礼	17回目	
2回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…明元素・ヨイオアシス、掃除	18回目	
3回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…ケーススタディ、研修スタッフスピーチ	19回目	
4回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…スピーチ、入学式リハーサル	20回目	
5回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…チームビルディング①	21回目	
6回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…チームビルディング②	22回目	
7回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…チームビルディング③	23回目	
8回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…宿泊研修の注意事項	24回目	
9回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…新入生歓迎会	25回目	
10回目	宿泊研修(14時間)	26回目	
11回目	宿泊研修(8時間)	27回目	
12回目	4/26(金) 宿泊研修の振り返り	28回目	
13回目	5/17(金) PSAについて	29回目	
14回目	5/31(金) 地域清掃活動	30回目	
15回目	6/14(金) OBOG座談会	31回目	
16回目	7/12(金) レジリエンス(100日後の振り返り)	32回目	
授業教材等:			

講義名:	人文科学 I B	講義時間数: 20時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能		
講義概要:	公務員試験で出題される人文系科目(日本史・世界史・地理)のうち、特に地理について学ぶ。		
到達目標:	世界の自然地理や各国の基本的知識を身に付け、公務員試験だけではなく一般常識的な基礎知識を学ぶ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	地形①		
2回目	地形② 問題演習		
3回目	気候①		
4回目	気候② 問題演習		
5回目	土壌・地図図法①		
6回目	土壌・地図図法② 問題演習		
7回目	各国地誌(アジア)①		
8回目	各国地誌(アジア)②		
9回目	各国地誌(ヨーロッパ)①		
10回目	各国地誌(ヨーロッパ)②		
11回目	単位認定試験		
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	自然科学 I	講義時間数: 20時間	受講コース名: 公務員
担当:	後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験で出題される自然系科目(特に物理・科学・地学)について学ぶ。		
到達目標:	自然に属する諸々の対象を取り扱い、その法則性を明らかにするだけでなく、一般常識的な基礎知識を学ぶ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	物理/等加速度直線運動①		
2回目	物理/等加速度直線運動②		
3回目	地学/地震・地球の構造①		
4回目	地学/地震・地球の構造②		
5回目	化学/原子構造、酸と塩基①		
6回目	化学/原子構造、酸と塩基②		
7回目	物理/電気①		
8回目	物理/電気②		
9回目	試験対策		
10回目	単位認定試験		
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	TKP I B①	講義時間数:	60時間	受講コース名:	公務員
担当:	服部 成志	単位数:	4単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業				
講義概要:	TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。				
到達目標:	TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	探求活動・業界研究導入	17回目	業界研究・プレゼン資料作成	33回目	
2回目	テーマ設定・行動計画	18回目	業界研究・プレゼン資料作成	34回目	
3回目	業界研究・プレゼン資料作成	19回目	最終発表	35回目	
4回目	業界研究・プレゼン資料作成	20回目	最終発表	36回目	
5回目	業界研究・プレゼン資料作成	21回目		37回目	
6回目	業界研究・プレゼン資料作成	22回目		38回目	
7回目	業界研究・プレゼン資料作成	23回目		39回目	
8回目	業界研究・プレゼン資料作成	24回目		40回目	
9回目	業界研究・プレゼン資料作成	25回目		41回目	
10回目	業界研究・プレゼン資料作成	26回目	6~7月に造山古墳ボランティアガイド 10月に気球プロジェクト	42回目	
11回目	業界研究・プレゼン資料作成	27回目		43回目	
12回目	業界研究・プレゼン資料作成	28回目		44回目	
13回目	中間発表	29回目		45回目	
14回目	中間発表	30回目		46回目	
15回目	業界研究・プレゼン資料作成	31回目		47回目	
16回目	業界研究・プレゼン資料作成	32回目		48回目	
授業教材等:					

講義名:	キッズビジネスパーク I B-①	講義時間数: 60時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	はたらくとは?を自分なりに考えていき、進路選択に活かす。 外部企業と協働する実践的な学びを経て、経験値の可視化、共有、キャリア形成を図る。		
到達目標:	企業との協働を通じて社会の仕組みや企業を多角的に見ることができる。 体験談を交えた自己PRを語るができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション、AiGROW受検	17回目	企画検討⑥
2回目	AiGROWフィードバック	18回目	企画決定、企業担当者様との交流
3回目	訪問先企業紹介、企業調べ①	19回目	
4回目	企業調べ②	20回目	
5回目	企業調べ③	21回目	
6回目	マナー講座	22回目	
7回目	企業訪問、AiGROW受検	23回目	
8回目	訪問振り返り、AiGROWフィードバック	24回目	
9回目	キッズビジネスパーク趣旨説明	25回目	
10回目	出店企業様との交流、会社説明・座談会	26回目	
11回目	企画検討①	27回目	
12回目	企画検討②	28回目	
13回目	企画検討③	29回目	
14回目	企画中間発表	30回目	
15回目	企画検討④	31回目	
16回目	企画検討⑤	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、個人用ノートパソコン		

講義名:	業界研究 I B-①	講義時間数:	60時間	受講コース名:	公務員
担当:	横田 悟・安廣 啓示	単位数:	4単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 前期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動を実施。				
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。活動内容のプレゼン発表を行う。				
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	希望する官庁、企業およびその業界の選択	17回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
2回目	活動計画書の作成	18回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
3回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	19回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
4回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	20回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
5回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	21回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
6回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	22回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
7回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	23回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
8回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	24回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
9回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	25回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
10回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	26回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
11回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	27回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
12回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	28回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
13回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	29回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
14回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	30回目	最終発表		
15回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	31回目			
16回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	32回目			
授業教材等:					

講義名:	模擬試験 I B	講義時間数: 63時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	公務員試験の教養模擬試験(45問、100分、マークシート方式)および適性試験(120問、20分、マークシート方式)を行う。		
到達目標:	公務員試験受験に向けて実践的な訓練を積む。 学生が目標を持ち、計画的に目標達成する習慣を作るとともに、復習を含めた学習習慣を作る。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	適性試験(120問、120分、マークシート方式)および教養模擬試験(45問、100分、マークシート)方式		
	年に数回、外部添削を含めた全国模試を実施する予定。		
授業教材等:			

講義名:	一般知能実践(数的推理) I B	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員
担当:	後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	全課題プリントの提出をもって単位認定とする。		
講義概要:	単元ごとの過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	自学自習の学習習慣を身につけさせる。 計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	数的推理演習問題(対比)、数的推理演習問題(割合・百分率)		
	数的推理演習問題(食塩水)、数的推理演習問題(仕事算)		
	数的推理演習問題(速さ)、数的推理演習問題(場合の数・確率)		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(判断推理) I B	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「判断推理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	「対応関係」演習問題 「試合と勝敗」演習問題		
	「順位・順序」演習問題 「位置関係」演習問題		
	「命題」演習問題 「図形」演習問題		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(政治経済)IB	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	問題直しができている場合、再提出とする。 期限内に提出、再提出ができない場合は単位取得を不可とする。		
講義概要:	政治経済について、单元ごとに過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	自学自習の学習習慣を身に付けさせる。 計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	单元ごとに政治経済の過去問や演習型の課題を課す。		
授業教材等:	オリジナル教材		

講義名:	夏期合宿 I	講義時間数: 35時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	合宿費については変動があるため、教材費ではなくその都度徴収する。		
講義概要:	7/3~7/5にかけて2泊3日の勉強合宿を国立吉備少年自然の家で実施する。		
到達目標:	公務員試験科目を集中的に取り組み、学力の底上げを図る。 特に主要三科目(数的処理、判断推理、政治経済)の学力定着を図る。 1つの目標に向け、周囲と協力し協調性・コミュニケーション能力を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	問題演習を中心とした講義。(1日目:12時間)		
2回目	問題演習を中心とした講義。(2日目:14時間)		
3回目	問題演習を中心とした講義。(3日目:9時間)		
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	総合演習 I B	講義時間数: 36時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 通年
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	公務員試験に必要な科目、特に面接対策について重点的に行っていく。		
到達目標:	面接に必要な面接カードの作成が自分自身の力でできるようになる。 個人面接および集団面接の経験を積み、2次試験を突破できる力を身に付ける。 人前で堂々と話すコミュニケーション能力を身に付け、自己表現するための力を会得する。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	面接カード作成①	17回目	面接対策⑧
2回目	面接カード作成②	18回目	面接対策⑨
3回目	面接カード作成③	19回目	
4回目	面接カード作成④	20回目	
5回目	政治経済(授業)	21回目	
6回目	面接対策①	22回目	
7回目	判断推理(授業)	23回目	
8回目	面接対策②	24回目	
9回目	面接対策③	25回目	
10回目	面接対策④	26回目	
11回目	数的処理(授業)	27回目	
12回目	面接対策⑤	28回目	
13回目	政治経済(授業)	29回目	
14回目	面接対策⑥	30回目	
15回目	判断推理(授業)	31回目	
16回目	面接対策⑦	32回目	
授業教材等:			

講義名:	セルフマネジメント I B-②	講義時間数: 55時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 3単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	TKP I B②	講義時間数:	36時間	受講コース名:	公務員
担当:	服部 成志	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	無				
備考:	TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業				
講義概要:	TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。				
到達目標:	TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけではなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	企画+フィールドワーク	17回目	プレゼン発表		
2回目	企画+フィールドワーク	18回目	プレゼン発表		
3回目	企画+フィールドワーク	19回目			
4回目	企画+フィールドワーク	20回目			
5回目	企画+フィールドワーク	21回目			
6回目	企画+フィールドワーク	22回目			
7回目	ボランティア活動	23回目			
8回目	ボランティア活動	24回目			
9回目	ボランティア活動	25回目			
10回目	ボランティア活動	26回目			
11回目	ボランティア活動	27回目			
12回目	プレゼン発表準備	28回目			
13回目	プレゼン発表準備	29回目			
14回目	プレゼン発表準備	30回目			
15回目	プレゼン発表準備	31回目			
16回目	プレゼン発表準備	32回目			
授業教材等:					

講義名:	キッズビジネスパーク I B-②	講義時間数: 36時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	はたらくとは?を自分なりに考えていき、進路選択に活かす。 外部企業と協働する実践的な学びを経て、経験値の可視化、共有、キャリア形成を図る。		
到達目標:	企業との協働を通じて社会の仕組みや企業を多角的に見る。 体験談を交えた自己PRを語るができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	キッズビジネスパーク概要説明		
2回目	当日に向けた準備①		
3回目	当日に向けた準備②		
4回目	当日に向けた準備③		
5回目	キッズビジネスパーク当日、AiGROW受検		
6回目	振り返り、AiGROWフィードバック		
7回目	校内発表準備①		
8回目	校内発表準備②		
9回目	校内発表準備③		
10回目	学内プレゼン発表①		
11回目	学内プレゼン発表②		
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、個人用ノートパソコン		

講義名:	業界研究 I B-②	講義時間数:	36時間	受講コース名:	公務員
担当:	横田 悟・安廣 啓示	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 後期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動を実施。				
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。活動内容のプレゼン発表を行う。				
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	希望する官庁、企業およびその業界の選択	17回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
2回目	活動計画書の作成	18回目	最終発表		
3回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	19回目			
4回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	20回目			
5回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	21回目			
6回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	22回目			
7回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	23回目			
8回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	24回目			
9回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	25回目			
10回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	26回目			
11回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	27回目			
12回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	28回目			
13回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	29回目			
14回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	30回目			
15回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	31回目			
16回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成	32回目			
授業教材等:					

講義名:	ビジネス基礎 I B	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	卒業必須資格である「ビジネス能力検定ジョブパス3級」の取得を目指す。		
講義概要:	電話対応の実習、名刺交換や席次、冠婚葬祭など、社会人の基礎マナーを身に付ける		
到達目標:	社会人として必要な一般常識や、社会生活を送るうえで知っておくべき基本的な知識を身に付ける。 「ビジネス能力検定ジョブパス3級」の取得。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション(授業のすすめ方)、B検過去問実施		
2回目	8つの意識について		
3回目	コミュニケーションについて		
4回目	来客対応		
5回目	お茶出し研修		
6回目	メールの出し方		
7回目	ビジネス文書①(社内)		
8回目	ビジネス文書②(社外)		
9回目	B検過去問実施		
10回目	ビジネス能力検定ジョブパス3級 受験		
11回目	敬語表現		
12回目	電話実習のための講義①		
13回目	電話実習のための講義②		
14回目	電話実習のための講義③		
15回目	ビジネス文書③(社外)		
16回目			
授業教材等:			

講義名:	検定対策 I B	講義時間数: 50時間	受講コース名: 公務員
担当:	種村 誠	単位数: 3単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	CS試験(コンピューター・サービス技能評価試験)3級(表計算)に関して、講義・模擬試験形式で進めていく。		
到達目標:	CS試験(コンピューター・サービス技能評価試験)3級(表計算)を取得し就職した後に生きるPCスキルの習得を目指す。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	CS試験(表計算)講義	17回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
2回目	CS試験(表計算)講義	18回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
3回目	CS試験(表計算)講義	19回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
4回目	CS試験(表計算)講義	20回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
5回目	CS試験(表計算)講義	21回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
6回目	CS試験(表計算)講義	22回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
7回目	CS試験(表計算)講義	23回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
8回目	CS試験(表計算)講義	24回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
9回目	CS試験(表計算)講義	25回目	CS試験(表計算)受験(国際情報館にて)
10回目	CS試験(表計算)講義	26回目	
11回目	CS試験(表計算)講義	27回目	
12回目	CS試験(表計算)講義	28回目	
13回目	CS試験(表計算)講義	29回目	
14回目	CS試験(表計算)講義	30回目	
15回目	CS試験(表計算)講義	31回目	
16回目	CS試験(表計算)講義	32回目	
授業教材等:	オリジナル教材等		

講義名:	簿記基礎 I B	講義時間数:	40時間	受講コース名:	公務員
担当:	横田 悟	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り				
講義概要:	全国経理検定協会・簿記3級テキストを使用し、お金の流れや簿記の基礎知識を学ぶ。				
到達目標:	自己分析に基づいた自身の強みや職業に対する想いを、自らの言葉で伝えられるようになる。 チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身につける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	オリエンテーション・仕訳基礎	17回目	模擬試験②(過去問題実施)		
2回目	仕訳基礎・簿記の基礎知識(勘定科目他)	18回目	模擬試験③(過去問題実施)		
3回目	仕訳帳、総勘定元帳	19回目	模擬試験④(過去問題実施)		
4回目	決算と試算表について	20回目	単位認定試験		
5回目	現金、当座預金	21回目			
6回目	三分法、掛取引、返品	22回目			
7回目	仕入帳、売上帳	23回目			
8回目	商品有高帳	24回目			
9回目	費用・収益	25回目			
10回目	手形、前払金、前受金、仮払金、仮受金	26回目			
11回目	立替金、預り金、現金過不足	27回目			
12回目	小口現金、消費税、引出金、有価証券	28回目			
13回目	決算整理	29回目			
14回目	精算表	30回目			
15回目	試験対策(合計試算表他)	31回目			
16回目	模擬試験①(過去問題実施)	32回目			
授業教材等:	全国経理検定協会・簿記3級テキスト、全国経理検定協会・簿記3級問題集				

講義名:	体育 I B	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員
担当:	安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	実技・実習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: スポーツクラブ勤務歴:18年
追試験実施:	無		
備考:	・運動ができる服装・シューズなどが用意できていない場合は、見学とする。(欠席ではない)		
講義概要:	・生涯にわたって運動やスポーツに親しむのに必要な素養と健康・安全に生きていくのに必要な身体能力, 知識などを身に付ける。		
到達目標:	・社会人となった時に必要な体力やストレス解消法を身につける。 ・自らの行動を振り返り、改善ポイントを自ら探し出すことができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	施設を利用して体力向上を図る(登山・外部マラソンなどに出かける場合もある)		
授業教材等:	体育館、ミライアス		

講義名:	パソコン操作 I	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員
担当:	後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	授業・単位認定試験共にパソコン必須。 講義後半にて実習課題を設けるので、その提出をもって単位認定とみなす。		
講義概要:	Word・Excelの基本または応用的な使用・操作方法を学ぶ。		
到達目標:	Wordを使用し、基本的なビジネス文書が作成できる。 Excelを使用し、応用的な機能・操作について学ぶ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	Word操作①		
2回目	Word操作②		
3回目	Word操作③		
4回目	Word操作④		
5回目	Excel操作応用①		
6回目	Excel操作応用②		
7回目	Excel操作応用③		
8回目	Excel操作応用④		
9回目	Excel操作応用⑤		
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	個人用ノートパソコン		

講義名:	卒業制作 I B	講義時間数: 16時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	卒業制作の発表をもって単位を認定する。		
講義概要:	1年間の生活を振り返り、プレゼンテーションの作成および発表を行う。		
到達目標:	学校生活の振り返りを行い、反省と学びを得る。 自分を支えてくれている存在について考え、感謝の心を持つ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション		
2回目	卒業制作①		
3回目	卒業制作②		
4回目	卒業制作③		
5回目	卒業制作④		
6回目	卒業制作発表①		
7回目	卒業制作発表②		
8回目	卒業制作発表③		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			